

## 特集

# 岐阜おおがきビエンナーレ2017

## 新しい時代 メディア・アート研究事始め

### 久保田晃弘、藤幡正樹、三輪眞弘

会期: 2017年12月19日(火)——24日(日)

11:00——19:00 \*22、23日は20:00まで

会場: IAMAS附属図書館(ワークショップ24 1F)

ギャラリー1・2、シアター(ソフトピアジャパンセンタービル 3F)、

セミナーホール(同1F)

主催: 情報科学芸術大学院大学[IAMAS]、大垣市

会場構成 西澤徹夫建築事務所

広報、資料収集、フライヤー・デザイン、web

コ本や honkbooks、田岡美沙子、早川翔人

スタッフ 赤羽亨、池田泰教、伊村靖子、大石桂誉、金山智子、杉山雄哉、  
富田太基、古澤龍、前田真二郎、松井茂、山田晃嗣、山田聡

協力 川嶋岳史、菊池周二、HDII高精細映像技術を用いた表現研究  
プロジェクト、IAMAS図書館・アーカイブ・プロジェクト



## 開催趣旨：

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] は、2016年度に開学20周年を迎えました。第7回目となる今回のビエンナーレは、本学と軌を一に展開してきたメディア・アートを、性格の異なる3人の作家、藤幡正樹、三輪眞弘、久保田晃弘の活動からひもときます。美術、音楽、工学を背景に、コンピュータと人間の関わり方を表現として、その時々に見出された、多様な「新しい時代」を、シンポジウムと資料展示から検証します。

メディア・アートが追及してきたコンピュータと人間の関わり方は、現在では、日常生活の深部と接地しています。しかしながら、メディア・アートが培った表現や設計に関わる行為遂行的（パフォーマティヴ）な思想は、一過性の現象として見過ごされがちです。こうした言説の再配置を目的としたメディア・アートに関する議論の生成を、いま「新しい時代」と位置付け、岐阜おおがきビエンナーレ2017を開催します。

## 「新しい時代」とはなにか？ 伊村靖子（ディレクター／IAMAS講師）

過去が再び現れるのは、それが隠れたひとつの現在だからです。

今回のビエンナーレでは、資料展示、コンサートを通じて過去と対峙することを、「メディア・アート」についての議論の端緒としてと考えています。

メディア意識を背景とした芸術作品は、発表当初、作家と鑑賞者を結びつけていた環境が失われることで、メディア論として機能したはずの批評性が見えづらくなります。その結果、メディア技術がもたらした表現における構造的変化が持つ批評性や観衆論は後退し、領域横断的な言説は、個別の領域の些末な出来事へと分断・分散されたまま、忘れ去られてきました。

しかしながら、ここで問題にしたいのは、こうした忘却ではなく、過去を召喚する行為の側にあります。一過性の行為に賭ける態度を「新しい時代」と標榜すること自体は、ポストモダンの焼き直しを思わせるかもしれません。とはいえこうした地点に立つことからしかメディア・アートの問い直しを始めることは困難でしょう。

表現としてメディアを選択する行為の背後にあった思想とは何だったのか？ また、その現在性について、みなさんと一緒に議論する機会を持ちたいと思います。

## メディア・アートのエラボレーション 松井茂（ディレクター／IAMAS准教授）

20世紀初頭から、有史以来の速度を得たメディア技術の進展は、同時代としての「現代」を、瞬間的に歴史の側へと押し流し、これに追従して更新する社会制度は、常に賞味期限切れの「新しい時代」を現在としてきました。今回のビエンナーレに寄せて換言すれば、「メディア・アート」という言葉も、この20年間で一般化したと同時に、陳腐化しています。とは言え、私はここで悲嘆に暮れるつもりはありません。陳腐化した現象の蓄積が、従来の歴史をより陳腐な現在として膠着させてゆく状況に対して、異議申し立てをしたいと考えているのです。

つまり、私が主張したいことは、単なる記録や保存という行為が思考の放棄であり、その都度毎の「新しい時代」の記録や保存は、自らの動体視力の「精錬＝エラボレーション」として、生存のために活用されるべき「術＝アート」でなければならないということです。「行為遂行的＝パフォーマティヴ」な思想を批評点として扱うべく、メディア・アートに着目し、作品展示ではなく選別した資料展示を、「精錬＝エラボレーション」のためのシンポジウムを、ビエンナーレ自体を実践の場として構想しました。実空間としての大垣のみならず、SNSや中継を通じて、私たちの企みにぜひ参画してください。



## シンポジウムプログラム

### ◎アーティスト・トーク

セミナーホール(ソフトピアジャパンセンタービル1F)

12月19日(火)18~20時

「新しい時代」

登壇者:久保田晃弘、藤幡正樹、三輪眞弘

モデレータ:伊村靖子、松井茂

12月22日(金)15~18時

「久保田晃弘:コードを記述し、実行し、保存する」

登壇者:永田康祐、市川創太、松川昌平

モデレータ:松井茂

### ◎シンポジウム

ギャラリー1(ソフトピアジャパンセンタービル3F)

12月20日(水)15~18時

「再演、再制作、再展示」

登壇者:石谷治寛、三輪健仁、赤羽亨

モデレータ:伊村靖子

12月23日(土)15~18時

「三輪眞弘《夢のガラクタ市》2つの再演をめぐって」

演奏:篠崎史子(ハープ)、有馬純寿(エレクトロニクス)

登壇者:有馬純寿、岡部真一郎、北野圭介

モデレータ:松井茂

12月21日(木)15~18時

「資料の読み書きと教育」

登壇者:松隈洋、渡部葉子、石谷治寛

モデレータ:伊村靖子

12月24日(日)15~18時

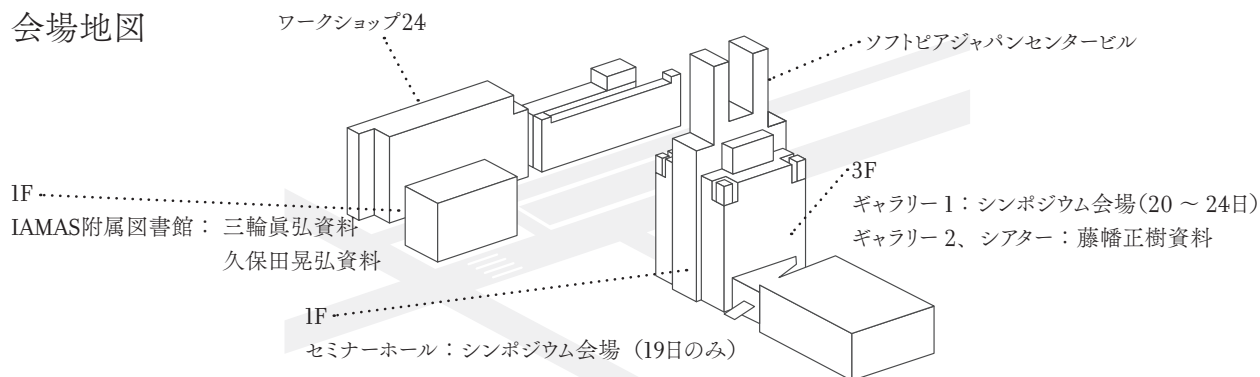
「藤幡正樹《Light on the Net》を解読する」

登壇者:飯田豊、喜多千草、篠原資明

モデレータ:松井茂



## 会場地図



## 資料展示と上映

### 三輪真弘資料

#### IAMAS附属図書館(ワークショップ24 1F)

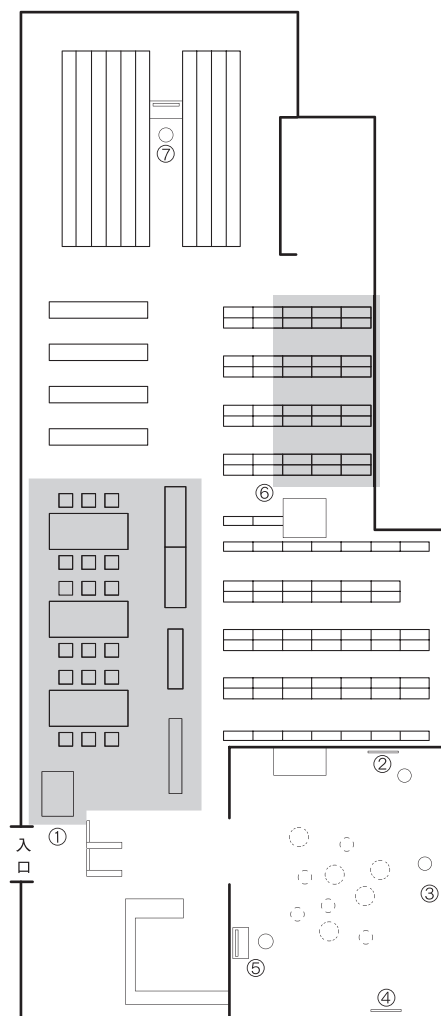
- ①「三輪真弘資料」  
メゾソプラノとコンピューター制御による自動ピアノのための《赤ずきんちゃん伴奏器》(1988年)、《夢のガラクタ市 前奏曲とリート》(1990年)、2台のピアノと1人のピアニストのための《東の唄》(1992年)、《言葉の影、またはアレルヤーAのテキストによる》(1998年)のコンサートに関するパンフレット、チラシ、掲載記事(新聞、雑誌)、手紙、葉書、手稿等(1988~2017年) \* 詳細は4~8頁の目録参照。
- ②ArtDKT Viewerによる三輪真弘作品の再制作に関するミーティングの記録映像(2016年)
- ③時空間3Dスキャニングシステムによる三輪真弘《みんなが好きな給食のおまんじゅう》ひとりの傍観者と6人の当番のために(2013年)再演の記録(2017年)
- ④メゾソプラノとコンピューター制御による自動ピアノのための《赤ずきんちゃん伴奏器》(1988年)再演時の映像記録(2016年)
- ⑤「三輪真弘資料」  
コンサートに関するパンフレット、チラシ、掲載記事(新聞、雑誌)、手紙、葉書、手稿等に関するアーカイブシステムAtoMによる記述およびデジタル資料閲覧。

### 久保田晃弘資料

#### IAMAS附属図書館(ワークショップ24 1F)

- ⑥「内観的コードと実行芸術(Introspective Code and Executable Art)」  
・心をもつ言語 Language with the Mind (2017年)  
・生成雲の詩学 Poetics of Generated Cloud (2017年)  
・コードの中の細断処理 Sporking Shreds in Chords (2006年~2017年)
- ⑦「久保田晃弘資料」  
音響合成用プログラミング言語SuperColliderによるライブ・コーディングに関するコード、音源、記録写真、記録映像(2005~2009年)に関するアーカイブシステムAtoMによる記述およびファイル共有の提案(実行可能なコードを含む電子データを対象としたアーカイブの試み)。

### IAMAS附属図書館





## 藤幡正樹資料

ギャラリー2(ソフトピアジャパンセンタービル3F)

### ⑧《Light on the Net》(1996年)に関する資料

- ・ 筐体
- ・ 制作時のノート(1996年)
- ・ 慶應義塾大学：藤幡正樹、川嶋岳史、祐川良子、岩田正樹、久保祐也、財団法人ソフトピアジャパン：石田亨、樋口亘「コンピュータネットワークにより始まる未来のメディア空間に関する研究」(『ソフトピアジャパン共同研究報告書』vol.1、1997年3月)
- ・ 祐川良子「インターネットメディアにおける美術作品の試みと考察」(1997年)

### ⑨書籍『アートとコンピュータ 新しい美術の射程』(慶應義塾大学出版会、1999年) 初出誌

シアター(ソフトピアジャパンセンタービル3F)

### ⑩テレビ番組『デザインギャラリー形と幻想』(NHK-BS2、1989年)

「First Night 椅子へのまなざし」(1989年7月15日放送)

「Second Night 眼玉は迷宮をめざす」(1989年7月16日放送)

「Last Night 都市・未完の欲望」(1989年7月17日放送)

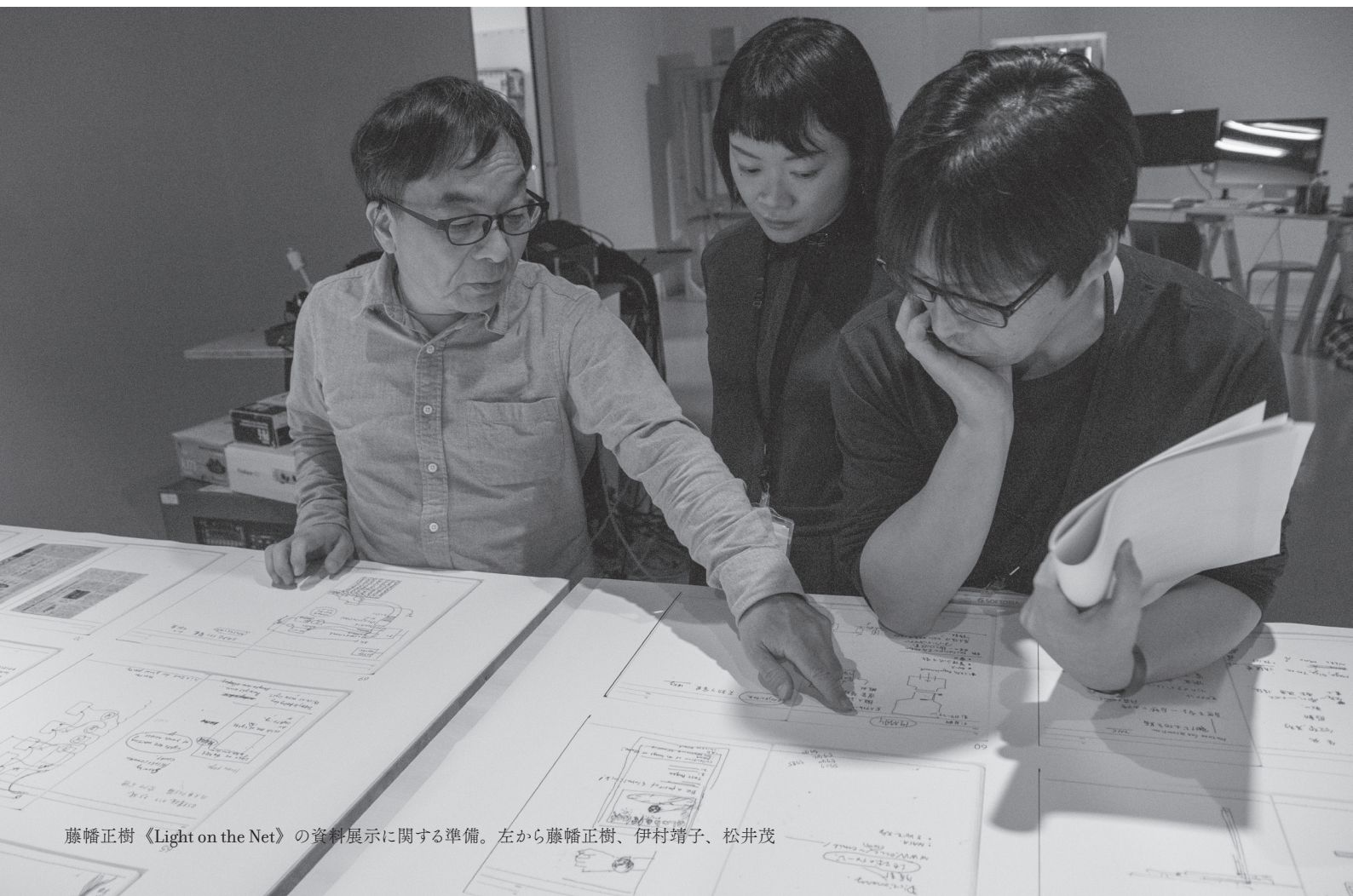
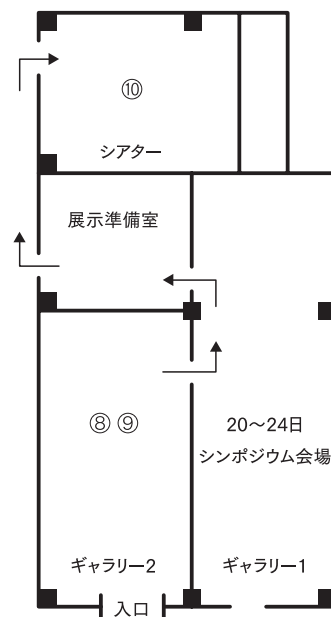
上映時間：90分。各30分を連続で上映します。

19日———11:30～13:00、13:20～14:50、15:10～16:30

20、21日、24日—11:30～13:00、13:20～14:50

22、23日———11:30～13:00、13:20～14:50、18:30～20:00

ソフトピアジャパンセンタービル3F



藤幡正樹《Light on the Net》の資料展示に関する準備。左から藤幡正樹、伊村靖子、松井茂